

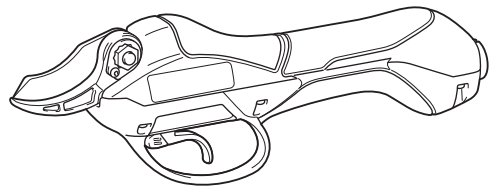


取扱説明書

充電式 せん定ハサミ

モデル UP361D

モデル UP362D



このたびは充電式せん定ハサミをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくだ
さるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 充電式せんだハサミ安全上のご注意	12
・ 各部の名称	14
・ 標準付属品	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ バッテリーについて	17
・ 充電器について	20
・ 使い方	28
・ バッテリーホルダの取り付け方	28
・ ハーネスの装着	28
・ 本製品とスイッチボックスの接続	30
・ スイッチの操作	33
・ 開口角度の調整	34
・ 切り込み深さの調整	34
・ せんだ方法	35
・ シャープブレードの隙間調整	36
・ 保守・点検について	37
・ シャープブレードの手入れ	37
・ シャープブレード（上刃・下刃）の交換方法	38
・ 上刃・下刃ともに交換する場合の取りはずし方	38
・ 上刃のみ交換する場合の取りはずし方	41
・ 下刃のみ交換する場合の取りはずし方	43
・ 取り付け方（交換する刃に限定なく共通）	44
・ シャープブレードの研磨	45
・ 上刃のとぎ方	45
・ 下刃のとぎ方	45
・ 本製品のお手入れ	46
・ 保管について	46
・ 保護機能	47
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	47
・ 故障かな？と思ったら	48
・ スwitchボックスのランプ表示について	50
・ ご修理の際は	50

主要機能

せん定ハサミ本製品	UP361D	UP362D
電動機	DC コアレスモータ	
バッテリー	リチウムイオンバッテリー	
	バッテリー BL1860B（容量 6.0 Ah）	
電圧	直流 36 V	
能力	最大切断径 33 mm	
本製品寸法 *	長さ 305 mm × 高さ 106 mm × 幅 43 mm	
質量 *	0.82 kg	

*: ハサミ部

充電器		DC18RD
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		690 VA
バッテリー充電端子	出力電圧	直流 7.2-18 V
	出力電流	直流 9 A × 2
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 1.5 A
	端子形状	USB A 型

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

1 回の充電での切断本数

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 使用環境や使用条件によって作業量は変わります。

モデル名	使用バッテリー	切断対象	上刃の開口角度	
			通常時	全開時
UP361D UP362D	BL1860B	ブドウの枝 (直径 15 mm 程度)	約 85,000 本	約 75,000 本

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - < 異常・故障例 >
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「**発電機**」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式せん定ハサミとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 本製品やスイッチボックス、バッテリーホルダを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電や故障する恐れがあります。
2. 必ず長ズボンと頑丈な靴を着用してください。
 - ・ 刃物に小石などが当たって飛散し、けがの恐れがあります。
3. 小さい子供やペットのいるそばで使わないでください。また小さい子供には絶対に使わせないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
4. 本製品を使用する前に、作業場所内にある障害物を除去してください。
 - ・ 障害物に刃物が当たるとけがの恐れがあります。
5. 刃物には手足や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
6. スwitchを切っても刃物はすぐ止まりません。本製品の持ち運び、刃物の点検やお手入れは、必ず刃物が止まっていることを確認し、スイッチボックスとバッテリーの接続をはずしてください。
 - ・ けがの恐れがあります。
7. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 刃物にひび・欠けなどの異常があったときには、新しい刃物と交換してください。
 - ・ 切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
10. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
11. ぬれた手で接続コードのプラグを抜き差ししないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
12. スwitchボックスに強い衝撃を加えないでください。
 - ・ 故障の原因になります。

⚠ 警告

13. 以下のときはスイッチボックスのスイッチを切り、バッテリーホルダからバッテリーをはずしてください。
- ・ 本製品の調整をするとき
 - ・ 本製品の保守・お手入れをするとき
 - ・ コードのもつれをとるとき
 - ・ 損傷有無の確認をするとき
 - ・ 本製品から離れるとき
 - ・ 使用していないとき
- ・ 事故やけがの恐れがあります。
14. 引金を引くときは、必ず手足が刃物の近くにならないことを確認してください。
- ・ けがの恐れがあります。

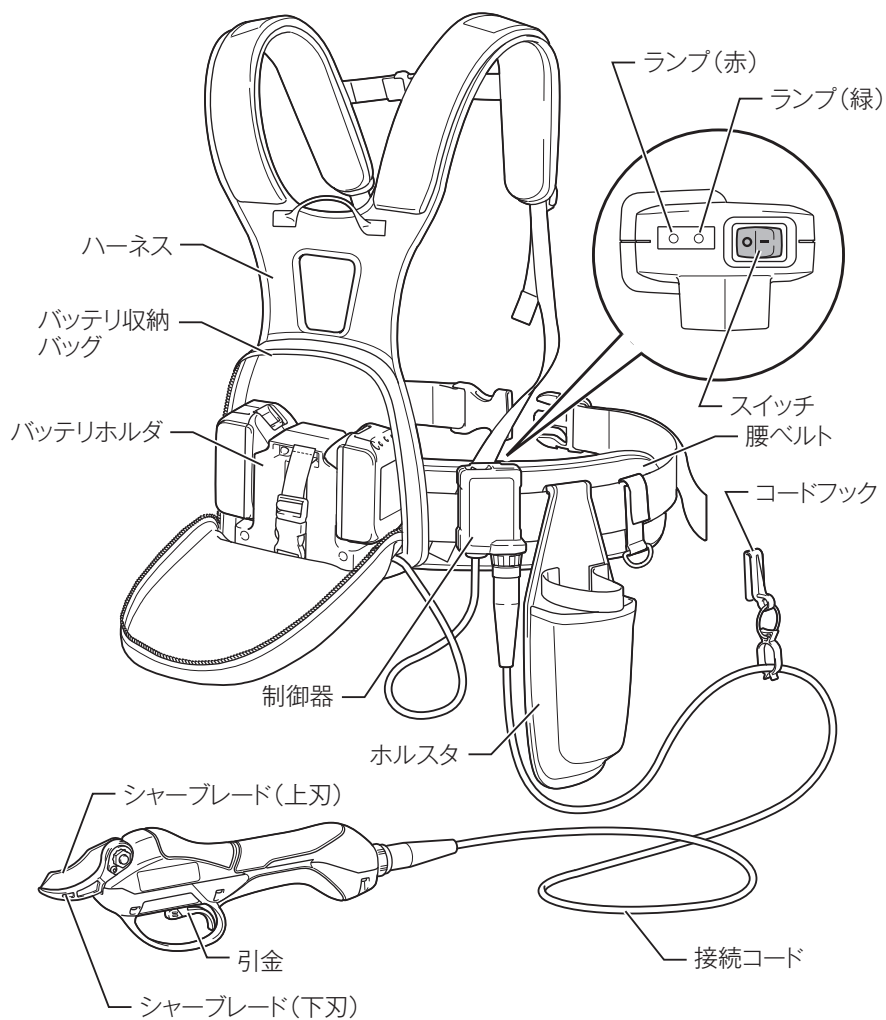
⚠ 注意

1. 刃物は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中、接続コードを切断しないように注意してください。万一、接続コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにバッテリーを抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
3. 油および殺虫剤などの薬品が本製品に付いたままにしないでください。
 - ・ 変色・変形・割れなど、本製品が損傷する恐れがあります。
4. 取り付けネジの点検
本製品を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。

注

- ・ 作業時以外は必ず本製品をホルスタに収納してください。

各部の名称



標準付属品

標準付属品 \ モデル	UP361DZ UP362DZ	UP361DPG2 UP362DPG2
バッテリー	×	○ (2 個) バッテリー BL1860B (6.0 Ah)
バッテリーカバー	×	○ (2 個)
充電器 (充電時間)	×	○ DC18RD (約 55 分)
スパナセット品 (ボックスレンチ 13、 六角棒スパナ 1.5、 六角棒スパナ 2、 六角棒スパナ 4)	○	○
ダイヤモンドヤスリ	○	○
油さし (マキタ純正オイル)	○	○
ホルスタ	○	○
腕バンド	○	○
コードフック	○	○
ハーネス	○	○
ツールバッグ	○	○
制御器 (スイッチボックス + バッテリホルダ)	○	○
接続コード	○	○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリ BL1820B (容量 2.0 Ah) 部品番号：A-61715
- ・ バッテリ BL1850B (容量 5.0 Ah) 部品番号：A-59900
- ・ バッテリ BL1830B (容量 3.0 Ah) 部品番号：A-60442
- ・ バッテリ BL1860B (容量 6.0 Ah) 部品番号：A-60464
- ・ ダイヤモンドヤスリ 部品番号：A-44747
- ・ コードフック 部品番号：A-42598



堅枝用

- ・ シャープブレード上刃 部品番号：A-65604



- ・ シャープブレード下刃 部品番号：A-65610



- ・ 段付きネジ M8 部品番号：251474-0
- ・ 六角穴付きボルト M3 × 8 部品番号：266557-3

細枝用

- ・ シャープブレード上刃 部品番号：A-65626



- ・ シャープブレード下刃 部品番号：A-65632



- ・ 段付きネジ M8 部品番号：251573-8
- ・ 六角穴付きボルト M3 × 6 部品番号：266183-8

バッテリーについて

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください。） ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーの取り付け、取りはずしの際は、スイッチボックスのスイッチをOにして電源を切ってください。

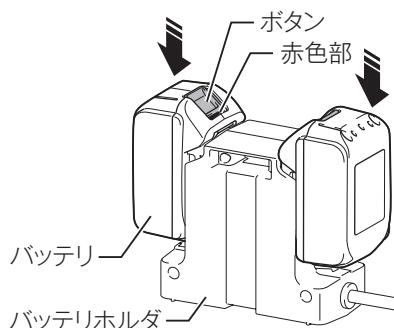
- ・ 事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

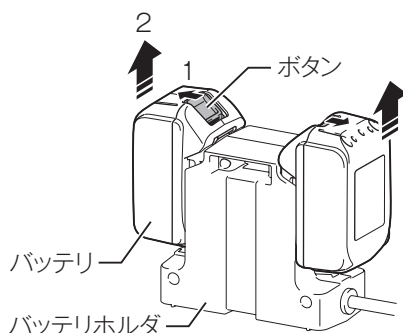
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



注

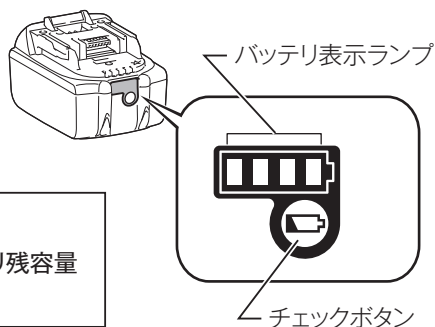
- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

バッテリーについて

バッテリー残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
■:点灯	◐:点滅	□:消灯		
■	■	■	■	75 % - 100 %
■	■	■	□	50 % - 75 %
■	■	□	□	25 % - 50 %
■	□	□	□	0 % - 25 %
◐	□	□	□	充電してください。
■	■	□	□	バッテリーの異常です。
□	□	■	■	

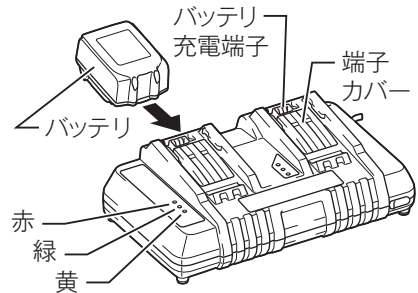
注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

充電器について

バッテリーの充電方法

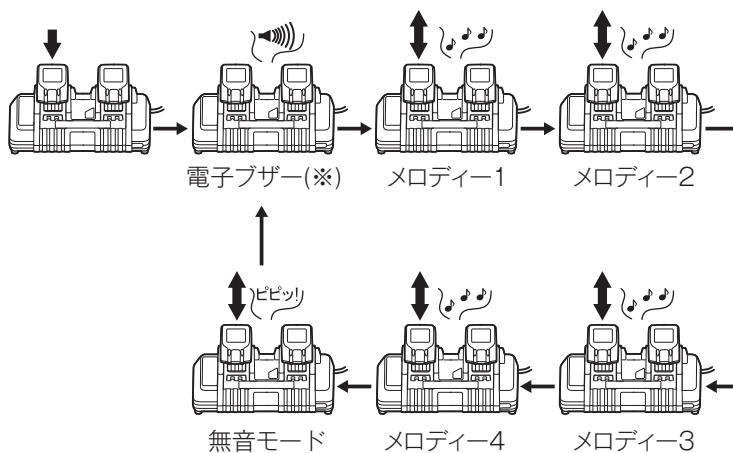
1. 2口急速充電器の電源プラグを100 Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを2口急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。
そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却します。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約30分です。
5. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから2口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーの確認音が短時間流れます。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。



（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について

充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
(通常充電のライト表示および表示内容)

ライト表示  点滅 点灯	表示内容
	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。
	充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
	充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー またはメロディー

充電器について

ライト表示  点滅  点灯	表示内容
(オートメンテナンス時のライト表示および表示内容)	
   黄	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
(異常時のライト表示および表示内容)	
 赤  緑 	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
   黄	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

充電器について

注

- DC18RD はマキタバッテリー専用の 2 口急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

オートメンテナンス機能について

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1 ～ 4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し(過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。)

充電器について

USB 電源端子の使い方

⚠ 警告

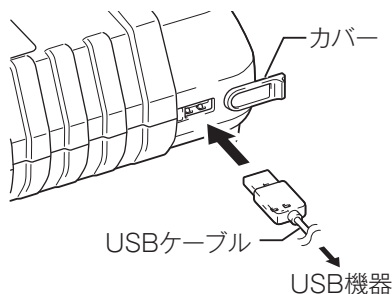
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

2 口急速充電器は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
 - ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
 - ・ 1.5 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、2 口急速充電器に接続しないでください。USB 電源端子の最大出力電流は、1.5 A です。
 - ・ 2 口急速充電器との接続には、USB 機器付属の USB ケーブルをご使用ください。
 - ・ 使用後は 2 口急速充電器正面のカバーを戻してください。カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障につながります。
 - ・ USB 電源端子に釘や針金が入らないよう注意してください。釘などが入ると充電器の故障につながります。
1. 本体正面のカバーをはずして、USB ケーブルで USB 機器と 2 口急速充電器を接続してください。
 2. 2 口急速充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
 3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
 4. 電源コンセントから 2 口急速充電器の電源プラグを抜いてください。



充電器について

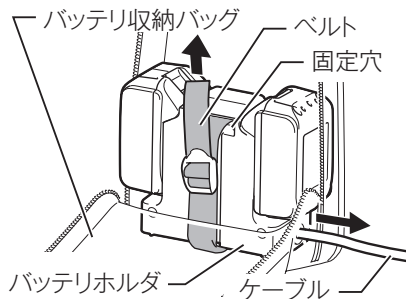
充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

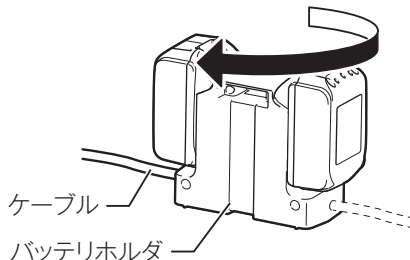
バッテリーホルダの取り付け方

1. バッテリーホルダのケーブルを図のようにバッテリー収納バッグに通します。
2. バッテリーホルダをバッテリー収納バッグに取り付けます。
3. ベルトをバッテリーホルダの固定穴に通して確実に固定します。



- ・ ケーブルを反対方向から通したい場合は、バッテリーホルダを180°回転させて向きを変えてから収納バッグに取り付けてください。

バッテリーホルダを180°回転

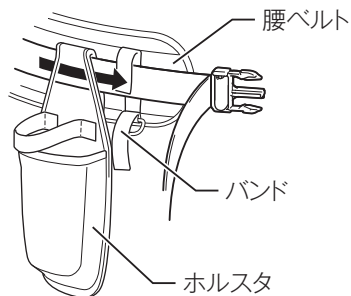


ハーネスの装着

⚠ 注意

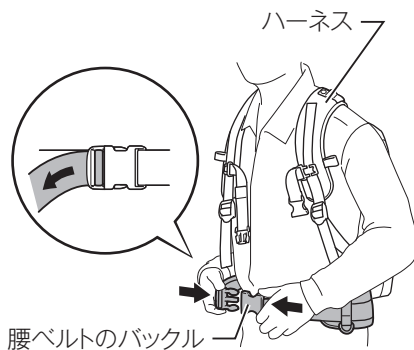
ハーネスの装着前に、バッテリーホルダがバッテリー収納バッグ内でしっかり固定されていることを確認してください。

1. ホルスタを図のようにハーネスの腰ベルトに通し、バンドで固定します。

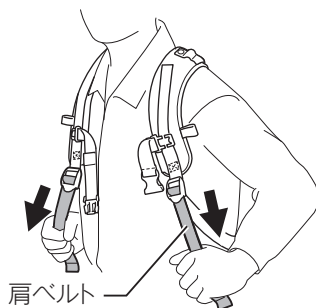


使い方

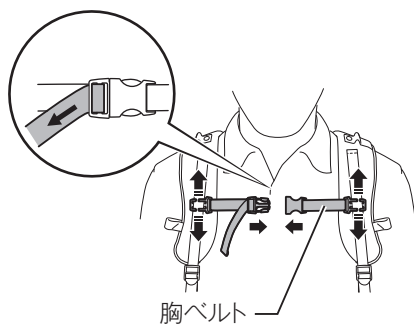
2. ハーネスを背負い、腰ベルトのバックルをはめて長さを調整します。



3. 肩ベルトの長さを調整します。



4. 胸ベルトの上下位置を調整します。
5. バックルをはめ、長さを調整します。



使い方

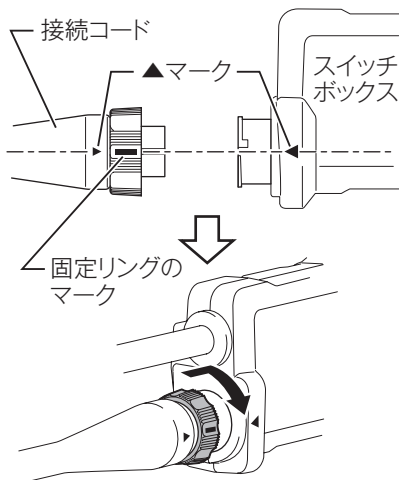
本製品とスイッチボックスの接続

⚠ 注意

接続の前に、必ずスイッチボックスのスイッチが切れていることを確認してください。

接続コードとスイッチボックスを接続

1. 次の3点が一直線に並ぶようにして、接続コードをスイッチボックスに差し込みます。
 - ・ 接続コードの▲マーク
 - ・ 固定リングのマーク
 - ・ スwitchボックスの▲マーク

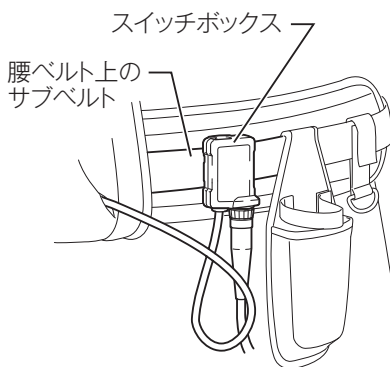


2. 固定リングを押し込んで、矢印方向に止まるまで回して固定します。

はずすときは、固定リングを回して3つのマークの位置を合わせてから引き抜きます。

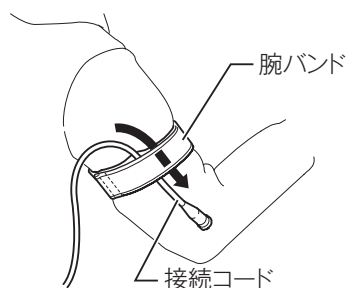
スイッチボックスの装着

1. スwitchボックスを腰ベルト上のサブベルト、または胸ベルトに取り付けます。



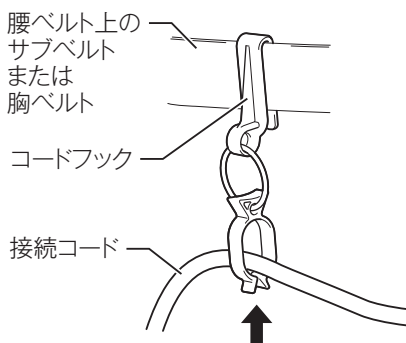
使い方

2. 腕バンドを図のように取り付け、接続コードを通します。



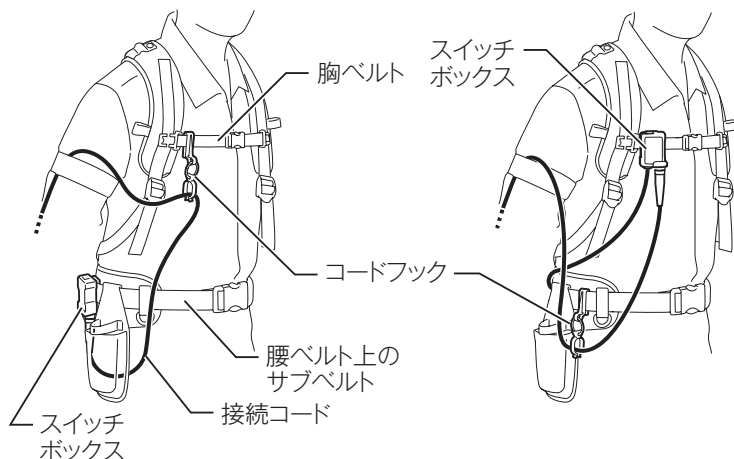
3. コードフックを腰ベルト上のサブベルト、または胸ベルトに取り付け、接続コードを図のように通して余分なたるみを無くします。

- ・ 下図をご参考にして、接続コードのたるみがないように装着してください。



注

- ・ 接続コードはコードフックのホルダ開口部から着脱してください。その際、ホルダ開口部には無理な力を加えないでください。ホルダの変形や破損の原因になります。



装着例1:
スイッチボックス⇒腰、コードフック⇒胸

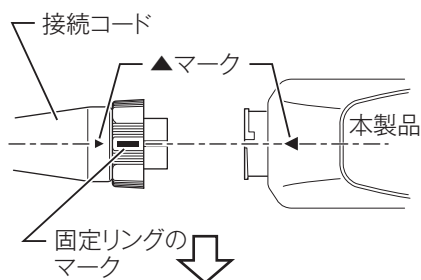
装着例2:
スイッチボックス⇒胸、コードフック⇒腰

使い方

接続コードと本製品を接続

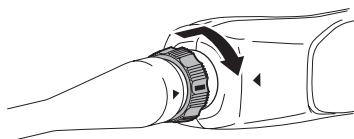
1. 次の3点が一直線に並ぶようにして、接続コードを本製品に差し込みます。

- ・ 接続コードの▲マーク
- ・ 固定リングのマーク
- ・ 本製品の▲マーク



2. 固定リングを押し込んで、矢印方向に止まるまで回して固定します。

はずすときは、固定リングを回して3つのマークの位置を合わせてから引き抜きます。



使い方

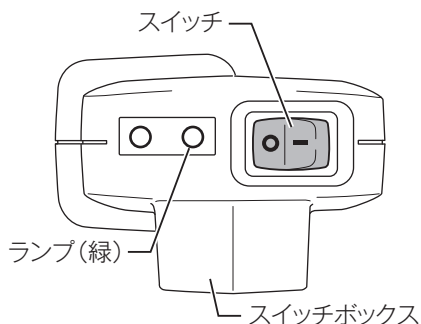
スイッチの操作

⚠ 警告

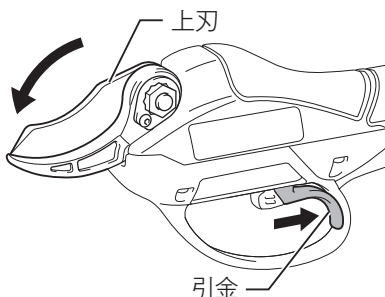
スイッチボックスのスイッチを入れる前に、引金进行操作しないでください。

- ・ 引金を引いたままスイッチを入れると、シャープブレードが少し動くため事故の原因になります。

1. スwitchをIにして、電源を入れます。
 - ・ 緑色のランプが点灯します。
2. 引金を2回引くと、上刃が自動的に開きます。
(上刃を閉じて電源を切った状態の場合)



3. 続けて引金を引くと上刃が閉じる方向に動きます。
 - ・ 引金を引き続けると上刃は閉じ切った位置で停止します。
 - ・ 引金を放すと刃は開く方向へ動き、開き切った位置で停止します。



注

- ・ 手順2の操作後、放置すると自動的に待機モードになりますので、下記の方法で解除してください。

放置時間 5 分（ランプ（緑）点灯）の場合：

- ・ 引金を2回引きます。

放置時間 15 分以上（ランプ（緑）消灯）の場合：

1. スwitchをいったん切った後、再びスイッチを入れます。
2. 引金を2回引きます。

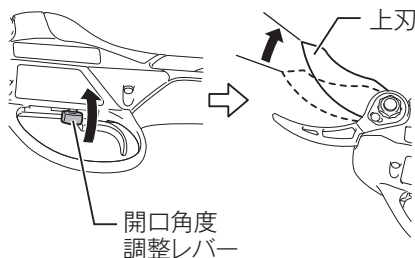
⚠ 警告

開口角度の調整、切り込み深さの調整の際は、手や指をシャープブレードに近づけないでください。

- ・ 事故の原因になります。

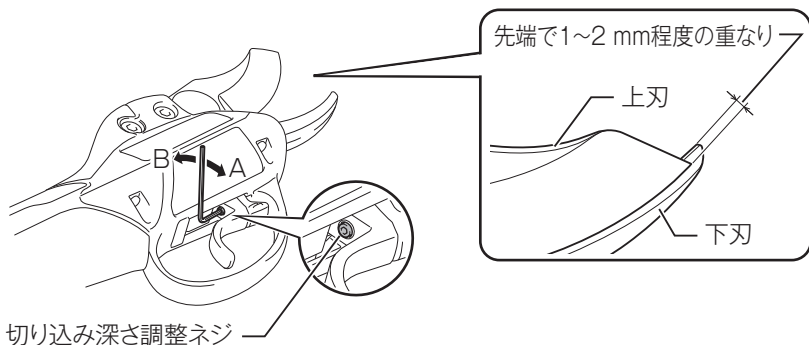
開口角度の調整

- ・ 開口角度調整レバーを矢印方向に倒すと、上刃の開口角度が全開になります。
- ・ 開口角度を戻すときは、引金を引いた状態で開口角度調整レバーを元の位置に戻します。



切り込み深さの調整

- ・ シャープブレードを研いだ後やシャープブレードの交換後は切り込み深さの調整が必要です。
1. スイッチを入れ、引金を2回引いて上刃を開きます。
 2. 上刃が開いた状態のまま、スイッチを切ります。
 3. 切り込み深さは、切り込み深さ調整ネジをA方向に回すと深くなり、B方向に回すと浅くなります。
- シャープブレードの上刃と下刃の重なりが先端で1～2 mm程度になるように調整します。
- ・ 上刃と下刃の重なりが少ないと皮残りが発生します。
 - ・ 上刃と下刃の重なりが十分であっても皮残りが発生する場合は、シャープブレードの研磨、または交換をしてください。



使い方

せん定方法

⚠ 警告

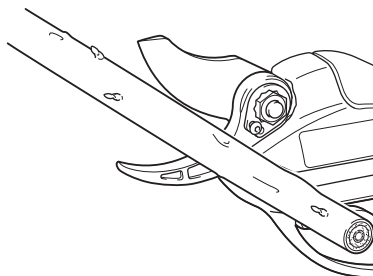
不安定な姿勢でせん定作業をしないでください。

- ・ 事故の原因になります。

せん定しようとしている枝を片手で保持して切断しないでください。

- ・ けがの原因となります。

- ・ 本製品の引金を操作して一本ずつ枝をはさんでせん定してください。
(シャープブレードに入る最大太さは約 33 mm までです)
- ・ 常に足元を安定させ、バランスを保ちながら作業してください。
作業後はスイッチを切り、本製品・スイッチボックスから接続コードをはずし、お子様の手が届かない、乾燥した場所に保管してください。



使い方

シャープブレードの隙間調整

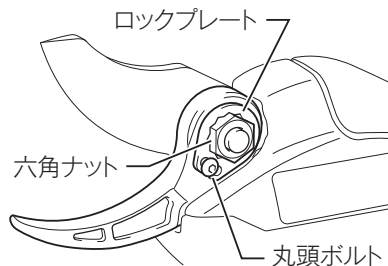
⚠ 警告

シャープブレードの隙間調整の際には必ずスイッチボックスのスイッチを切り、本製品から接続コードをはずしてください。

・ 接続コードを本製品につないだまま行くと、思わぬ事故の原因になります。

シャープブレードの隙間調整の際には必ず手袋を使用してください。

1. シャープブレードが開いた状態でスイッチを切ります。
2. 本製品から接続コードをはずします。
3. 丸頭ボルトをゆるめ、ロックプレートを取りはずします。
4. 六角ナットを手で締め付けます。
 - ・ 手で締まる程度の締め付けで、約 $0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ です。
 - ・ 締め付けが弱いと切れ味が悪くなり、切断時に切り残しが出やすくなります。
 - ・ 締め付けが強いと負荷が大きくなり、モータへの過負荷やバッテリーの消耗が早くなります。
5. ロックプレートを取り付け、丸頭ボルトで六角ナットがゆるまないように固定します。
6. 固定ネジの軸方向にシャープブレードのガタツキがないこと、切断方向にはシャープブレードが軽く 3 mm 程度動くことを確認します。
7. 実際に切断します。
 - ・ 切れ味が悪い場合は、手順 4 の六角ナットを増し締めしてください。



⚠ 警告

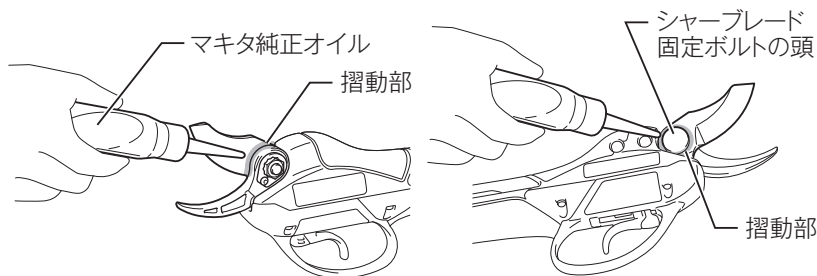
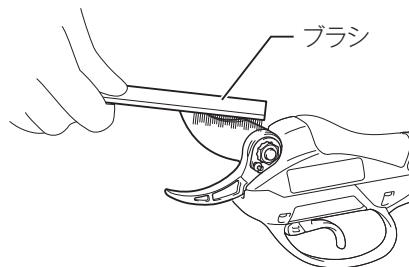
点検・整備の際には必ずスイッチボックスのスイッチを切り、本製品から接続コードをはずしてください。

・ 接続コードを本製品につないだまま行くと、思わぬ事故の原因になります。
シャープブレードの交換の際には必ず手袋を使用してください。

シャープブレードの手入れ

注

- 作業の前後にはシャープブレードの点検をしてください。
- 作業後は硬いブラシでシャープブレードの両面のよごれを落とし、布で拭きとります。
- 付属のマキタ純正オイルを摺動部（上刃と下刃の合わさる部分、およびシャープブレード固定ボルトの頭と上刃の間）に十分塗布してください。



注

- シャープブレードの手入れを怠ると、シャープブレードの摩擦が大きくなり、1回の充電での使用時間が短くなります。

保守・点検について

シャープブレード（上刃・下刃）の交換方法

⚠ 警告

シャープブレードの交換の際には必ずスイッチボックスのスイッチを切り、本製品から接続コードをはずしてください。

- ・ 接続コードを本製品につないだまま行くと、思わぬ事故の原因になります。

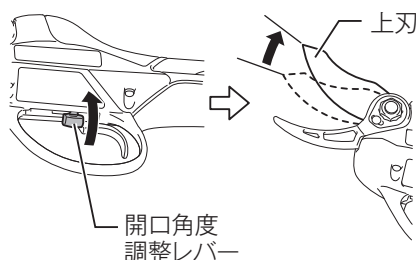
シャープブレードの交換の際には必ず手袋を使用してください。

別販売品のシャープブレードに交換する際は、上刃と下刃ともに同じ種類の刃になるように交換してください。

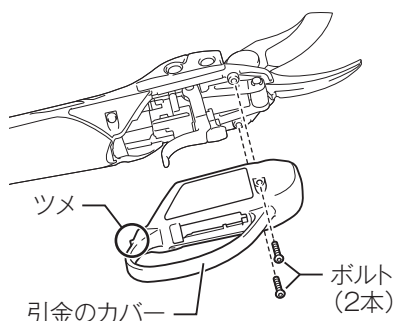
- ・ 堅枝用と細枝用の2種類があります。
- ・ 細枝用に交換する際は、取り付け用のボルトも細枝用のものを使用してください。（16 ページ参照）

上刃・下刃ともに交換する場合の取りはずし方

1. 開口調整レバーを倒して上刃が全開の状態ですwitchを切ります。
2. 本製品から接続コードをはずします。

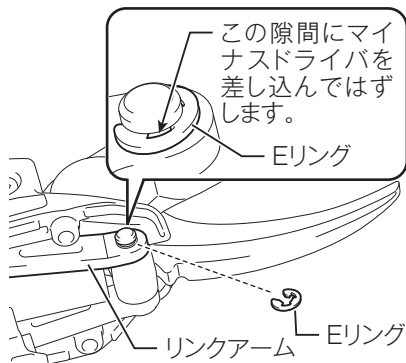


3. ボルト（2本）をはずし、ハウジングからツメをはずしながら引金のカバーを取りはずします。

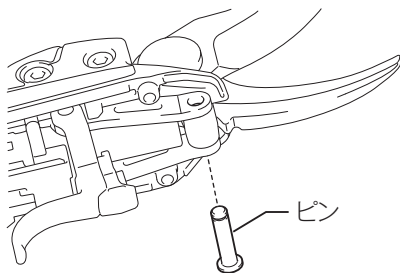


保守・点検について

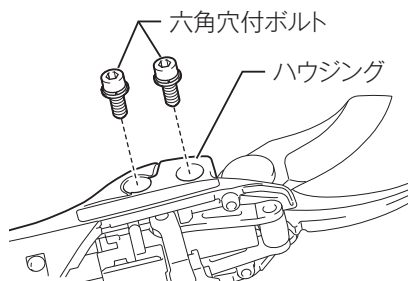
4. リンクアームを固定しているEリングをマイナスドライバなどではずします。
 - ・ Eリングは使い捨てです。交換の際は、上刃に付属のEリングをお使いください。



5. リンクアームを固定しているピンを抜きます。

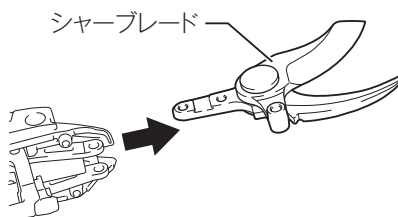


6. シャーブレードをハウジングに固定している六角穴付ボルト（2本）をはずします。

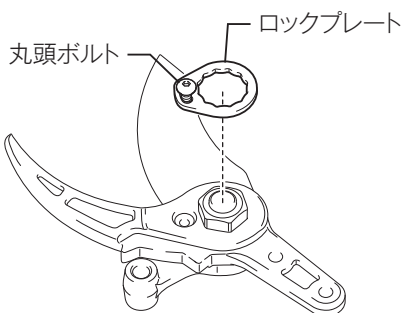


保守・点検について

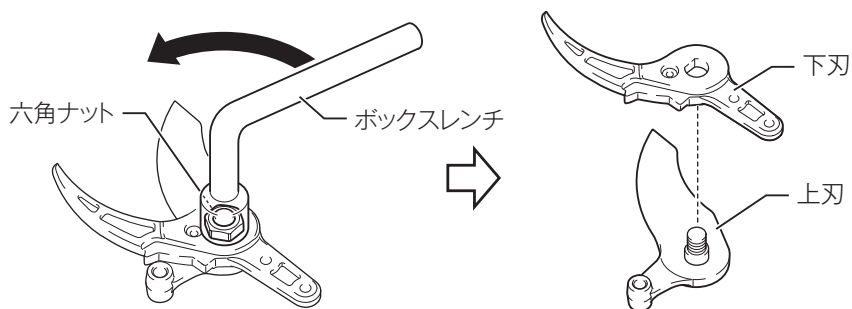
7. シャーブレード（上刃・下刃）をハウジングから矢印方向へ取りはずします。



8. 丸頭ボルトをゆるめ、ロックプレートをはずします。



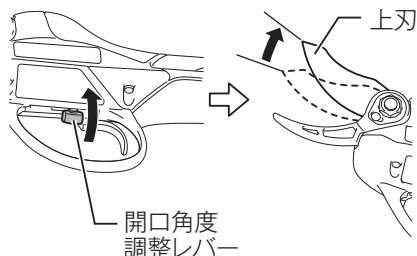
9. シャーブレード（上刃・下刃）を固定している六角ナットを付属のボックスレンチではずして、上刃と下刃を分けます。



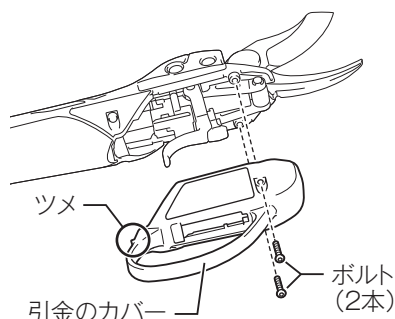
保守・点検について

上刃のみ交換する場合の取りはずし方

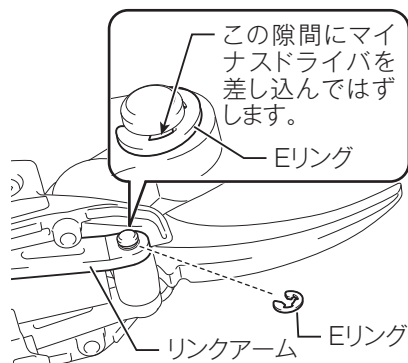
1. 開口調整レバーを倒して上刃が全開の状態ですwitchを切ります。
2. 本製品から接続コードをはずします。



3. ボルト（2本）をはずし、ハウジングからツメをはずしながら引金のカバーを取りはずします。

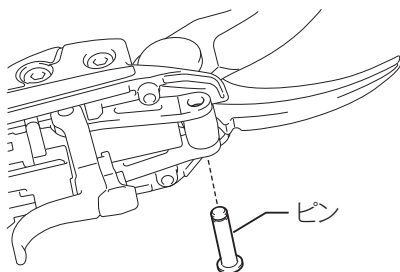


4. リンクアームを固定しているEリングをマイナスドライバなどではずします。
 - ・ Eリングは使い捨てです。交換の際は、上刃に付属のEリングをお使いください。

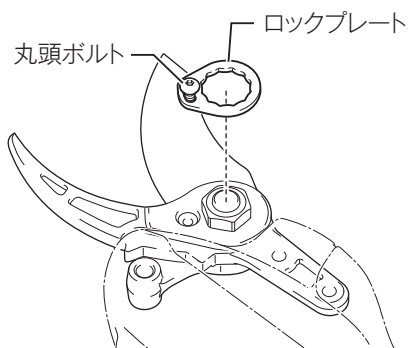


保守・点検について

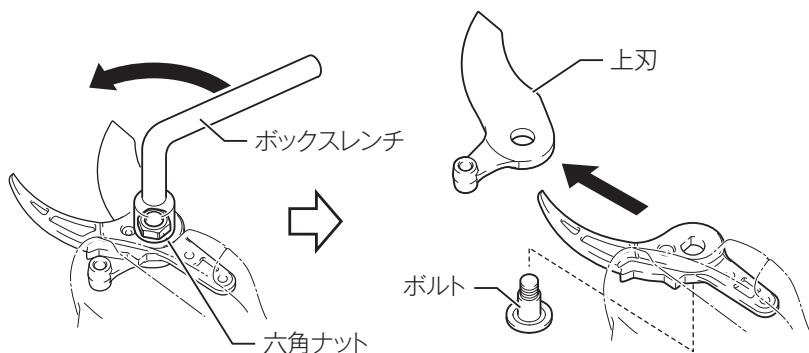
5. リンクアームを固定しているピンを抜きます。



6. 丸頭ボルトをゆるめ、ロックプレートをはずします。



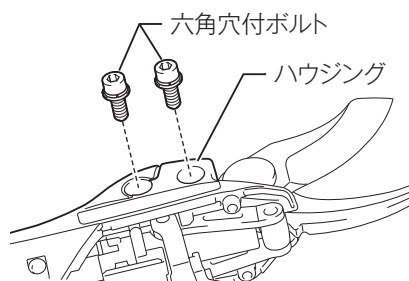
7. シャーブレード（上刃・下刃）を固定している六角ナットを付属のボックスレンチではずしてボルトを抜き、上刃をはずします。



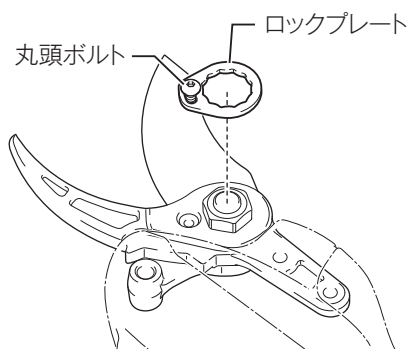
保守・点検について

下刃のみ交換する場合の取りはずし方

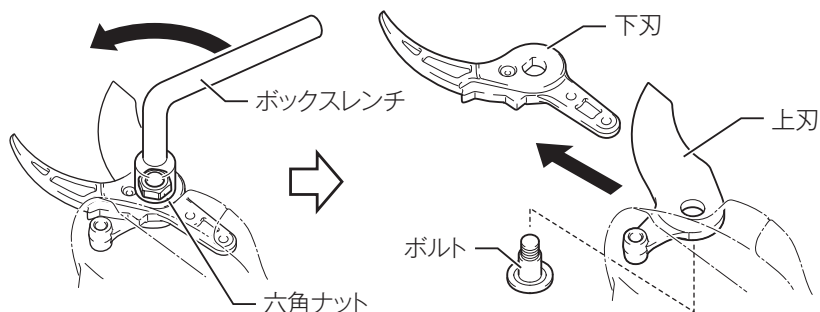
1. 本製品から接続コードをはずします。
2. シャーブレードをハウジングに固定している六角穴付ボルト（2本）をはずします。



3. 丸頭ボルトをゆるめ、ロックプレートをはずします。



4. シャーブレード（上刃・下刃）を固定している六角ナットを付属のボックスレンチではずして、ボルトを抜きます。下刃をスライドさせるようにしてはずします。



保守・点検について

取り付け方（交換する刃に限定なく共通）

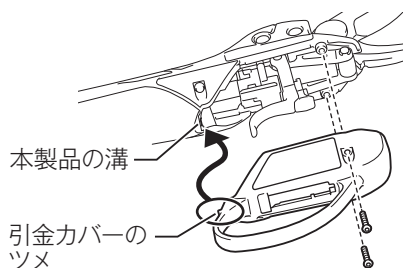
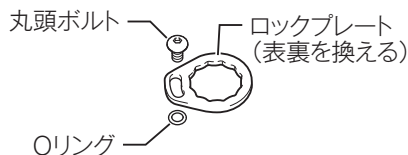
- ・ 取りはずし方の手順を逆に行ってください。

注

- ・ 取り付けの際は、下記の項目に注意してください。
- ・ 付属のマキタ純正オイルをシャープブレードを固定しているボルトとシャープブレードの間に塗布してください。



- ・ ロックプレートが取り付けにくいときは、丸頭ボルトとＯリングをはずしてロックプレートの表裏を換え、丸頭ボルトとＯリングを戻してから取り付けてください。
- ・ 引金のカバーを取り付けるときは、カバーのツメを本製品の溝に差し込んでください。（下刃のみの交換時には必要ありません。）



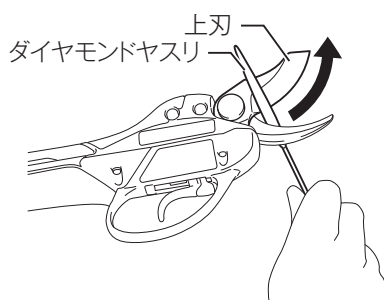
注

- ・ シャープブレードの交換後は、必ず切り込み深さの調整（34 ページ参照）、およびシャープブレードの隙間調整（36 ページ参照）をしてください。

保守・点検について

シャープブレードの研磨 上刃のとき方

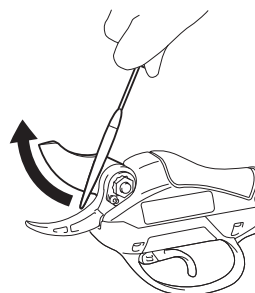
1. ダイヤモンドヤスリの平面側を刃先の角度に合わせ矢印の方向に押し付けて刃先全体をとぎます。



2. 裏側にダイヤモンドヤスリの平面側を軽く当ててカエリを取り除いて仕上げます。

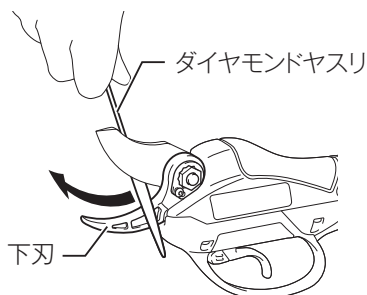
注

- ・ カエリを取り除く程度にしてください。余計にといだ場合、シャープブレードの上刃と下刃の間に隙間ができる恐れがあります。



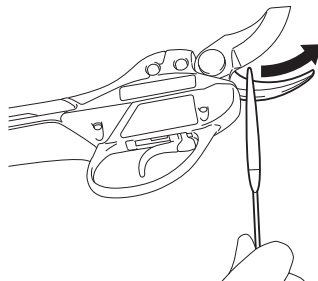
下刃のとき方

1. ダイヤモンドヤスリの曲面側を刃先の角度に合わせて矢印の方向に押し付けて刃先全体をとぎます。



保守・点検について

- 裏側にダイヤモンドヤスリの平面側を軽く当ててカエリを取り除いて上げます。



注

- カエリを取り除く程度にしてください。余計にといた場合、シャープブレードの上刃と下刃の間に隙間ができる恐れがあります。
- シャープブレードの研磨後は、必ず切り込み深さの調整（34 ページ参照）をしてください。

本製品のお手入れ

- 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- 水洗いは絶対にしないでください。
 - 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管について

- ご使用後は、下記の手順で接続をはずした後、乾燥した子供の手の届かない所に鍵をかけて保管してください。
- 上刃が閉じた状態でスイッチを切ります。
 - 本製品とスイッチボックスから接続コードをはずします。
 - バッテリーをバッテリーホルダから抜きます。

保護機能

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

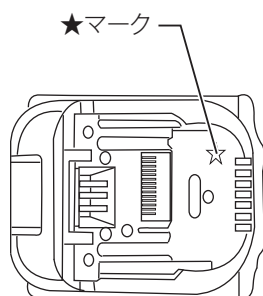
保護機能
・ 本製品が高温になると、ランプ（緑）が点滅してモータが自動停止します。 ・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ バッテリーの容量が少なくなるとランプ（赤）が点灯してモータが自動停止します。 ・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 ・ 引金を放してスイッチボックスのスイッチを切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。 ・ 原因を取り除けば再びご使用になれます。

注

- ・ 保護機能が頻繁に作動するような使い方はしないでください。
 - ・ 故障の原因となります。

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 47 ページ参照。

故障かな？と思ったら

不具合の状況	原因	対処方法
引金を引いてもシャープブレードが動かない。	バッテリーの残容量が少ない。	バッテリーを充電してください。
	電源が入っていない。	スイッチをⅠにしてください。 (33 ページ参照)
	接続コードがしっかりと接続されていない。	スイッチボックスと本製品の接続状態を確認してください。 (30 ページ参照)
	スイッチが入った状態でバッテリーを取り付けた。	スイッチをⅠにしてから、Ⅰにしてください。
	引金が故障している。	ご使用を中止して、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。
シャープブレードが枝にかんで動かない。	枝が太すぎる。 枝が堅すぎる。	1. 引金を放し、スイッチをⅠにしてください。 2. 枝からゆっくりとまっすぐにシャープブレードを引き抜いてください。
引金がロックして、それ以上引くことができない。	シャープブレードを強制的に開いた。	スイッチをⅠにしてからⅠにしてください。その際、上刃がわずかに閉じます。
切った枝の切り口がなめらかでない。	シャープブレードの上刃と下刃に隙間ができている。	刃先を研磨して切り込み深さ調整と隙間調整をしてください。 (34、36 ページ参照)
	シャープブレードの刃先が摩耗している。	シャープブレードを交換してください。 (38 ページ参照)

- ・ 上記の対処を行っても解消されない場合は、故障の可能性があります。

故障かな？と思ったら

スイッチボックスのランプ表示について

- ・ 通常は、スイッチを入れると緑点灯となりますが、以下の場合には、それぞれ対処が必要となります。

ランプ表示  : 点滅  : 点灯	状態	対処方法
 緑  赤 /  赤	バッテリー電圧が著しく低下しています。	・ バッテリーを充電してください。 ・ 充電済みのバッテリーを取り付けても、緑と赤のランプが点灯するときはスイッチをいったん切ってください。
 	バッテリーが完全に放電しています。	バッテリーを充電してください。
 緑 	モータが高温になっています。	スイッチをいったん切って、本製品を冷却してください。
 緑 交互 ⇄  赤	接続コードが確実に接続されていません。	接続コードを確実に接続してください。

- ・ 上記の対処を行っても緑点灯とならない場合は、故障の可能性があります。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらず、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ スイッチを切り、接続コードとバッテリーをはずした上で本製品一式とバッテリーおよび充電器を一緒にお持ちください。

881D56B4
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）